

英語コース 1・2 年合同研修

今回は、技能を高めるにとどまらず、今まで知らなかった国の現状や世界全体の抱える問題点を学び、豊かさや幸福感とは何か、より良い社会のために何をすべきか、などについて考えたり、英語で話し合ったりする貴重な機会となりました。1・2年生が協力し合って活動することができ、お互いの成長を実感した2日間となりました。

【研修1日目】 7月24日（土）本校にて

Warm-up

1年生と2年生がペアで自己紹介や自分に関するクイズをしました。

Get the Sound! Get the Rhythm!

1年生は英語発音やリズムを音楽に合わせて楽しく練習しました。

Debate Match

2年は”Japan should relocate the capital function to Nagoya.”の論題で、英語ディベートを行いました。



Let's learn about SDGs (オンラインによる講義)

講師：東京都東大和市立第二中学校教諭高田裕行先生

青年海外協力隊でアフリカのベナンに派遣された際のエピソードや、SDGs の必要性などについて教えていただきました。豊かさや幸福とは何かを考えて話し合うことができました。

豊かさについて考える (オンラインによるフィリピンとの交流)

フィリピンのイロイロ市とオンライン交流を行いました。ライブ中継で市内や若者たちの家の様子を見ることができ、今まで知らなかった現実を学びました。また、Smoky Mountain というゴミの山で働きながら学校に通っていた若者たちとの交流も行い、より良い社会をどうすれば実現できるのか、考えるきっかけとなりました。

【研修2日目】 7月25日（日） 北ビワコホテルグラツィエにて

”Discussion for Survival”

講師：元立命館大学教授山岡憲史先生

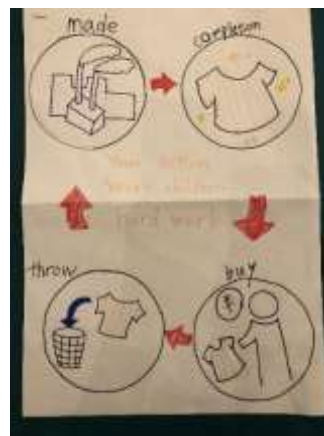
無人島で1年間生活するために50万円をどのように活用するかを班で話し合い、英語で意見を発表しました。”Two heads are better than one.” 一人で考えるよりも仲間と話し合うことでより現実的で科学的な考えを導き出すことができたようです。英語で考えを伝える力だけでなく、未知の出来事にも想像力を働かせて対応する力も大切であると学びました。

How should we live a life as a global citizen?

講師：神戸市立葺合高等学校の竹下厚志先生

ファッション産業における児童労働の現実や深刻な環境問題について考え、児童労働をなくすための啓発ポスターを作成しました。問題意識を形にして、届けたい相手にしっかりと伝えることの意義を学びました。





Activities with ALTs



県内より8人のALTと自己紹介やクイズを行った後、班ごとに英語でのスキットを作成し、発表しました。どの班の発表も工夫がほどこされていて、見応えのある発表でした。さまざまな活動を通して、担当ALTとの交流も深まり、最後には別れを惜しむ姿が見られました。

